
二百文字詩集「虹色交差点」

那音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「一百文字詩集「虹色交差点」」

【NZード】

NZ8485NZ

【作者名】

那音

【あらすじ】

いろんな声が通ります。

君の全部が好きだから

「どうしようもなく愛しくて、どうしようもなく羨しくて。
君を遠くから眺めていたくて、君を近くに感じていたくて。
君に好きって言いたくて、言えなくて。

どんな言葉を投げかければ、君は振り向いてくれるのかな。
愛してるじゃ足りない。身体中から溢れ出すこの気持ちは、どう
すれば伝わるの？

考えても答えはないんだ。

この気持ちを伝えるには、きっと言葉じゃダメなんだね。
もつと君を好きになれば、勝手に言葉は出でくるのかな。

恥ずかしがり屋

ひづけに向いて。

だいじょうぶ、こわくないよ。知ってるだろ、そんなこと。

どうしたのさ、顔赤いよ。体調悪いの？

もうすいふん寒くなつてるんだから、風邪なんかひかないよつにな。

最近メールも電話も口クにしてないけど、ちゃんと言いたいことわかってるつもりだから。

てか、君は相変わらずの恥ずかしがり屋だから、ひつちが汲み取らないといけないでしょ。

すっかり君に慣れてしまつたからさ、もう今更なにがあつても動じやないよ。

笑っちゃいなよ

たとえば考へてる言葉がなにもかも伝わるとしたら、人間の文化で言葉は廃れていくんだろう。

そんな風にさ。泣いてばっかいると、笑い方忘れちゃうよ。
悲しむのも大切だけど、僕はそんな君を笑えないよ。
すこし寂しくても、思い出せればこつだつて近くにいるって思えるはず。

泣き顔が似合う君じゃないからや。

どんなに辛くとも前を向けとは言わないけど、俯いてばっかだと誰かにぶつかるよ。

落ち着いてからでいいから、前向こうひがせ。

君の道

向回せりてもつまらないとか、そんな壁にぶつかつたとして
る。

ちだいへ。
そこでしがとく続かうるか、あがひのわづか、船せわむぢつ

ない。

だからこそ人はそれに最善の道を見いだして、そこに進んでいくんじゃないかな。

それは1人で探すのは難しいだろうから、いろいろな人に手伝つてもらいながらさ。

信じてみればいい

ちょっとしたことでケンカして、いつの間にか自然と仲直りして
る。

田まぐるしく変わる感情を整理できないから、その場しのぎと
いつ言い訳で、嘘は勝手にでてくる。

嘘に嘘を塗り重ねて、嘘の終わりは嘘になる。

知らず知らずのうちに垂らした命綱が、そのうち自分の首を絞め
るよ。

言葉にできないなら、無理に言葉になんかしないほうがいい。
田を見ただけで伝わるような、そんな魔法を信じてみればいい。
それなら、誰も傷つかない。

強い絆で結ばれる

気持ちだけが先走って、いまいかつまく動けない。
結果だけがすべてじゃないけど、結果がよけりや、とりあえずはいいや。

嫌な事、辛い事があつても、それを乗り越えればそれまで以上に強い絆で結ばれる。

精一杯走つてそれがゴールにまつすぐ続いてるなら、後ろ気にしてるヒマなんかない。

誰かの足元救うよりは、誰かの前で進んでた方がいい。
地を駆ける兎も、夢見ればいつか空翔る竜になれる。
諦めるのは、まだ早かつたりするんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8485z/>

二百文字詩集「虹色交差点」

2011年12月31日22時50分発行